

会議名称	第1回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会
開催場所	加古川市立青少年女性センター 4階 大会議室
開催日時	令和4年5月31日(火) 19時00分から21時20分
出席者	委員：浅野良一、住友剛、曾我智史、吉田圭吾 事務局：織田信吾、稲岡剛、岸田直也、桐山朋宏、杉本達之、松尾光隆、今津幸央、真鍋裕美、大西健司、藤尾昌也、辻俊幸、山下純一、伊藤良介、飯島健太郎、中塔貴志、寒川真理子、田中啓介、今井淳二
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度3学期いじめ防止対策の取組状況に係る報告 資料3 別添資料①～③ (2) 令和3年度いじめ防止対策の取組状況に係る評価検証(年間) 資料4・5・6 (3) 令和4年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制 資料7・8・9・10・11 (4) 学校での対応事例について(非公開) (5) その他 4 令和4年度第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について 5 閉会
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会委員・事務局名簿 資料1 3 加古川市いじめ防止対策評価検証委員会規則 資料2 4 令和3年度3学期いじめ防止対策の取組状況に係る報告 資料3 別添資料①～③ 5 令和3年度加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の取組状況について 資料4 6 令和3年度いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート(まとめ)について 資料5 7 各学校の学校評価について 資料6 8 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画(2022年度版) 資料7 9 いじめ防止対策改善プログラム(2022年度版) 資料8 10 各学校のいじめ防止対策改善プログラム 全体計画・年間計画 資料9 11 令和4年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制 資料10 12 令和4年度 学校生活適応推進事業実施要項 資料11
傍聴者	0名

会議要旨（発言者、発言内容、審議経過等）	
（委員長）	<p>議事（４）の「学校での対応事例について」は、個人や事案が特定できる可能性のある情報を含むため非公開とする。（各委員同意）</p> <p>３ 議事</p> <p>（１）令和３年度３学期いじめ防止対策の取組状況に係る報告</p>
（事務局）	<p><事務局報告> 資料３について</p>
（委員）	<p>不登校児童生徒数の急激な増加や小学生の暴力事案の増加にはどのような理由があるのか。また、SNS投稿の事案も含め、一つひとつの事案の背景に何があったのかということをよく確認する必要がある。</p>
（事務局）	<p>不登校については様々な要因が考えられるが、学校への調査によると無気力や友達と接することへの不安が高い割合を占めている。また家庭のことが原因となっている場合もある。中学校では個別に対応するためにメンタルサポーターを配置している。</p> <p>小学生の暴力事案の増加については、コロナ禍でマスクを着用するようになってコミュニケーションがとりづらく、うまく自分の思いを伝えられないことが原因の一つとして考えられる。</p> <p>SNS投稿事案に対しては、少年愛護センターから学校へ情報提供し、学校で事実確認をして必要に応じて指導を行い、保護者に事実と指導について連絡している。指導した内容については学校から少年愛護センターに報告される。</p>
（委員）	<p>いじめと不登校の関係、その件数を把握しておくべきである。</p>
（委員）	<p>コロナの影響で不登校やいじめがどの程度あったのか、またこれからどうなっていくのかを見守る必要がある。また、メンタルサポーターが目指しているのは不登校生徒とのどういう関わりか。</p>
（事務局）	<p>コロナに関するいじめや不登校についての情報は把握できていないが、各学校でそれぞれの児童生徒の状況に応じて慎重に対応されている。</p> <p>メンタルサポーターの関わりとしては学習面のサポートだけでなく、教師とは違った立場から、出会えたことを一緒に喜んだり、体験活動と一緒に参加したりすることや教師と生徒の両方の話を聞いて間に立って何かできることはないかを考えながら対応している。</p>
（委員）	<p>メンタルサポーターの多様な役割、不登校児童生徒にいろんな経験を与える取組の中でよい取組を広げていただきたい。</p>

(委員長)	3学期の取組状況はよく取り組んでいる。(各委員同意)
	(2) 令和3年度いじめ防止対策の取組状況に係る評価検証(年間)
(事務局)	<事務局報告> 資料4・5・6について
(委員)	学校園支援ボランティア等、地域住民を含めた大勢の目で見守っていることは評価できるが、保護者とのコミュニケーションをもう少しうまくとれるようにしていただきたい。
(委員)	自己点検シートの「互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができたか」という項目は児童生徒の目線で評価していただきたい。
(委員)	生徒たちの取組が5か年計画の中でかなり活発化され大きな成果となっている。これが加古川の教育文化としていじめ根絶に向けての取り組みとして残っていくのかというところに関心がある。
(委員)	教育相談の実施により、日常的に児童生徒からの相談でいじめ認知が増えていくことが理想であるので形骸化しないように取り組んでいただきたい。
(委員長)	取組全般的によく取り組んでいる。(各委員同意)
	(3) 令和4年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制
(事務局)	<事務局報告> 資料7・8・9・10・11について
(委員)	5か年計画を実施して、何が成果で何が課題かをまとめて、これからどうしていくのかを考えなければならない。
(委員)	学校及び市教育委員会のこれまでの取組は、大変すばらしいものである。他の自治体にも水平展開していただきたい。
(委員)	いじめの基本認識については、全教職員及び児童生徒に意識をもってもらいたい。
(委員長)	この5年間でやってきたことをもとに今後はどういった取組をするのかを次回の評価検証委員会で提案いただきたい。

(委員長)	<p>(4) 学校での対応事例について（非公開）</p> <p>4 令和4年度第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について</p> <p>令和4年10月17日（月）に開催する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-------	--